

文教委員会資料⑨

1 令和7年第4回定例会提出予定議案の説明

(9) 議案第215号 川崎市青少年の家の指定管理者の指定について

資料 川崎市青少年の家の指定管理者の指定についての参考資料

こども未来局

(令和7年11月21日)

議案第 2 1 5 号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	川崎市青少年の家
(2) 所在地	川崎市宮前区宮崎 1 0 5 番地 1
(3) 設置条例	川崎市青少年の家条例
(4) 設置目的	団体宿泊研修等を通じて、心身ともに健全な青少年の育成を図る。
(5) 施設の事業内容	団体宿泊研修その他の団体研修を行うこと ほか
(6) 現在の管理者	かわさき未来応援パートナーズ 代表者 株式会社東急コミュニティー 代表取締役 木村 昌平 構成員 公益財団法人川崎市スポーツ協会 会長 中山 紳一
(7) 現在の管理運営費	8 0 , 2 1 1 千円 (令和 7 年度の指定管理料)

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	かわさき未来応援パートナーズ 代表者 株式会社東急コミュニティー 構成員 公益財団法人川崎市スポーツ協会
所 在 地	東京都世田谷区用賀 4 丁目 1 0 番 1 号

代 表 者	株式会社東急コミュニティー
所 在 地	東京都世田谷区用賀 4 丁目 1 0 番 1 号
代 表 者 名	代表取締役 木村 昌平
設 立 年 月 日	昭和 4 5 年 4 月 8 日
資 本 の 額	1 6 億 5 , 3 8 0 万円
従 業 員 数	1 0 , 2 3 4 人
設 立 目 的	(1) 土地建物の管理、賃貸、売買、仲介及びマンション管理業 (2) 家具、家庭用電気製品、電気照明器具、室内装飾用品、消火器具、食料品、衣料品、書籍、事務用品、日用雑貨等の販売及び斡旋 (3) 建築工事及び付帯設備工事の設計監理、施工、請負 (4) 土地建物の経営管理に関するコンサルティング (5) ホテル及び飲食店の経営 (6) 警備業法に基づく整備業 他 1 8 事業を営むことを目的とする。
事 業 概 要 (令和 7 年度)	(1) 川崎市青少年の家指定管理者 (2) 神奈川県立愛川ふれあいの村指定管理者 (3) 板橋区立八ヶ岳荘指定管理者 (4) 埼玉県立神川げんきプラザ指定管理者 (5) 千葉県立君津亀山少年自然の家指定管理者 ほか

決 算 (令和6年度)	売上高	181,676,000千円
	営業利益	10,492,000千円
	経常利益	10,757,000千円

構 成 員	公益財団法人川崎市スポーツ協会
所 在 地	川崎市中中原区宮内4丁目1番2号
代 表 者 名	会長 中山 紳一
設 立 年 月 日	平成23年11月1日(旧財団の設立年月日 平成4年7月3日)
基 本 財 産	1億1,000万円
職 員 数	11人
設 立 目 的	市民のスポーツ文化の普及・振興、競技スポーツの強化及びスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、もって明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。
事 業 概 要 (令和7年度)	(1) 川崎市青少年の家指定管理者 (2) 川崎市宮前スポーツセンター指定管理者 (3) 川崎市多摩スポーツセンター指定管理者
決 算 (令和6年度)	経常収益 168,503千円 経常費用 169,090千円 当期経常増減額 △587千円

3 指定期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画(主な提案内容)

- (1) 青少年育成事業(「星空観察教室」・「スポーツ体験クラブ」)、地域育成事業(「幼児体操教室」・「青少年の家キャンプ」)など多様な主催事業の実施及び拡充
- (2) SNSの活用、近隣小・中学校への広報活動など広報案内業務の強化や市内公共施設、地域住民等との連携・協力の強化
- (3) 建物設備の経年劣化に伴う適切な修繕の実施

6 収支計画

(単位：千円)

項 目	金 額 (消費税及び地方消費税を含む)					
	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	合 計
収 入	105,292	108,301	111,238	114,235	117,304	556,370
指定管理料	87,232	89,723	92,131	94,607	97,152	460,845
利用料金	12,574	12,930	13,286	13,641	13,997	66,428
その他の収 入	5,486	5,648	5,821	5,987	6,155	29,097
支 出	105,292	108,301	111,238	114,235	117,304	556,370

別紙

川崎市青少年の家の指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

説明会参加団体：2団体

応募団体：2団体（かわさき未来応援パートナーズ、株式会社アグサ）

2 川崎市こども未来局民間活用事業者選定評価委員会

青少年教育施設・こども文化センター部会委員

（部会長）岡田 守弘（横浜国立大学名誉教授）

（常任委員）新井 努（新井公認会計士事務所／公認会計士）

（常任委員）柴田 彩千子（東京学芸大学教授）

（臨時委員）加藤 悦雄（大妻女子大学教授）

（臨時委員）川本 比呂史（川本経営事務所／中小企業診断士・社労士）

3 選定理由

施設の管理運営、利用方法等の基本的な考え方が適当で、仕様書に沿った提案がなされるときともに、提案金額やそれに伴う収支計画・人員配置も妥当であった。

また、SNSを活用した更なる広報・利用案内業務の強化、主催事業及び地域連携の更なる拡充、建物の経年劣化に対する対応等、現状課題の解決に向けた前向きな取組の提案がなされた。

併せて、第4期の目標値である利用者数を上回ったこと等、これまでの運営実績を踏まえ、施設を安定的、継続的に運営を行ったことを評価し、当該団体を選定した。

4 審査結果（※基準点580点以上）

選定基準	配点	指定管理 予定者	株式会社 アグサ
① 事業目的の達成とサービスの向上への取組について	380点	280点	260点
② 事業経営計画と管理経費縮減等への取組について	220点	130点	128点
③ 事業の安定性・継続性の確保への取組について	130点	94点	80点
④ 応募団体の取組について	160点	114点	104点
⑤ 応募団体自身について	110点	74点	72点
実績評価点（標準を0点として、加減点）		一点	一点
合 計	1,000点	692点	644点

5 提案額

460,845千円（5年間の合計額）